

令和2年度 介護保険特別会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	3. 地域支援事業費	大事業	3. 認知症施策推進事業
項	3. 包括支援事業・任意事業費	中事業	
目	1. 包括支援事業費	担当所属	高齢者福祉課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額			
経常	補助	計画	0	0	16,071	実施計画	第1章	思いやりと希望にみちたまちづくり	-	
							基本施策4	高齢者支援の充実	平成28年度	-
									平成29年度	-
									平成30年度	-
施策4	認知症施策を推進します	平成31年度	-							
		令和2年度	-							

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	12,967	
本年度当初査定額	12,967	16,839

財源内訳	国庫支出金	県支出金	繰入金			その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0	0			12,967	△12,967
本年度当初査定額	6,483	3,242	3,242			0	3,872

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ①認知症初期集中支援推進事業 認知症の早期診断・早期対応に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し支援を行います。 ②認知症地域支援・ケア向上事業 認知症の人の状態に応じた効果的な支援が行われるよう、「認知症地域支援推進員」を配置し、認知症ケアの向上・共生を図ります。</p>	<p>(事業の目的) 認知症の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、認知症の早期発見・早期対応に向けた支援体制を構築するとともに、認知症の理解促進のための啓発を行い、「認知症にやさしい佐倉」を推進します。</p>	<p>(事業の効果) 高齢化に伴い認知症の人の増加が推測されているため、早期対応と地域の認知症ケアを向上するための事業を推進することで、高齢者が住み慣れた地域の中で安心して在宅生活を継続することが期待できます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 令和元年度6月18日に「認知症施策推進大綱」が示され、2025年度までの国におけるKPI/目標が設定されたことで、認知症施策を推進していく必要があります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 認知症初期集中支援チームを支援する専門職チームを設置します。 認知症の共生を推進する事業への補助金交付を行います。</p>	<p>(見積についての特記事項) 認知症初期集中支援チームを支援する専門職チーム 認知症カフェ運営委託料を削減し、認知症ケア向上推進補助金を創設しました。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	470	598	△128
08	11	12	△1
10	104	197	△93
12	15,654	16,081	△427
18	600	0	600

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額	
	04	02	02	01	01	00	00	地域支援事業交付金 (包括的支援事業・任意事業	6,483	6,483	6,502	△19
								地域支援事業交付金 (包括的支援事業・任意事業	3,242	3,242	3,251	△9
								地域支援事業繰入金 (包括的支援事業・任意事業	3,242	3,242	3,251	△9
差引一般財源								△12,967	3,872	△13,004	16,876	